



CONTENTS

- 01 茨城大学寄付講座
「生きるとは？働くとは？」
株式会社カスミ 代表取締役会長 小瀨裕正氏
- 03 委員会報告
産業政策・環境／経営教育／労働企画／環境／青年経営研究会
- 05 支部だより
取手・龍ヶ崎／古河・坂東
- 07 『会員増強運動2014』の状況 目標まで2社
- 09 新入会員紹介
- 10 平成26年度特定（産業別）最低賃金が決定
- 11 数に込められた思いと意味⑨＜葛田一雄＞
「和の年中行事は数字とともにあり」
- 13 県内NPO情報Vol.170＜横田能洋＞
「子どもの貧困対策が急務」
- 14 セミナー・事業等のご案内

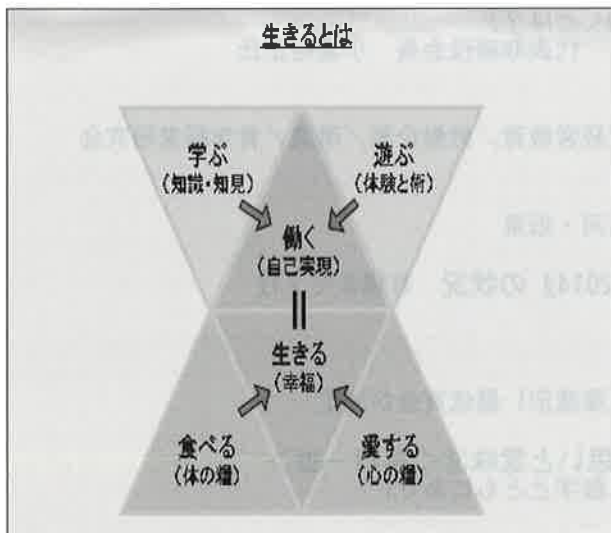
平成26年10月29日開催

「生きるとは？ 働くとは？」

株式会社カスミ代表取締役会長 小濱 裕正氏

生きる要素というのは4つから成り立っていると思います。「学ぶ」これは、知識を得ること、知ること。これはコミュニケーション取る上で大事なことです。

それからもう1つは「遊ぶ」ということです。「遊ぶ」というのは、何か体験して、技術も含めて、そういうのを身につけるということです。遊ぶのは、もちろんテレビの前でテレビゲームやっている、これも遊びかも知れないけれども、本当の遊びは人と交わって遊ぶことが大事です。2人でも3人でもいいから、何かをして一緒に遊んでそこで、お互いに技術を確認しあって、ここはもう少しこうしたほうがいいんじゃないか？とかああしたほうがいいんじゃないか？とか言ったり、教えたり教えられたりしながら、そこで色々な体験をしていく。だから学生時代に何が特権かといえば、遊ぶことが特権です。オープンな気持ちで体験できる。それが特権です。



更にもう1つの要素は「食べる」です。これは心身、体の糧です。「生きることは食べること」と言われる人がおります。やっぱり食べるという事は大事です。食べるにしても、皆さん方の体に身につく食べ方をしないといけない。イギリスの言葉に、「あなたの体はあなたの食べ物によって作られる」がある。あなたの食べたものがあなたの体である。だから食べるのもバランスよく食べていく。そういうことも意識して学生時代に体を

作っておかないと。だからカスミでは子供さんの食育を一生懸命やっている。これは小さいときから食べるとはどういうことかを知ってもらいたい。そして長年食べていくので、バランスよく、そういうものを大切に食事をしてもらいたい。おおよそ1年間に1万人くらいの方がカスミの店に来て勉強します。小学生の2年生から4年生位までの人が対象です。企業としてもそれは一つの貢献活動としてやっています。皆さん方もまだ間に合う。良い健康状態を保ちたいという安全性の欲求。そのために食事というのは大事にしておかなければいけない。

それから「愛する」です。人を愛する。もちろん恋人でもなんでもいい。お母さんだって、家族だって、人類愛だとか地球愛だとか色々な愛があると思います。やはり愛する対象というのが必要で、これは心の糧になります。何かを大事にしようとする、大切にしてもらいたい、あるいは大切にしよう。だから食べるのは体の糧であり、愛するということは心の糧だと。この2つは心身の糧です。そういうことが相まって人間は生きる。一方はよく知識を身につけて、コミュニケーション力を持って、そして一方では、いろんな意味での遊びを体験して。それを合わせて働く。だから生きることと働くことは結論的にはここで結びつくとは私は思っている。これは長年、人間として生きてきて体験的にまとめたらこういうことじゃないかと思っています。人によっては考え方が違うかもしれないけれども、大体この4つの要素で人間は生きている。それが働くことと結びつくのです。

私が71年生きてきて「働くこととは？」についてまとめたものが資料にあります。1番目が「ロマンと使命をもつこと」である。やはり働くときに何か自分で夢を持つというか、こういう風に自分の仕事を結び付けたいとか、何か役に立ちそうだなとか、そういうロマンというか、言い換えれば夢かもしれないし、理想かもしれないけど、やはりそれはどっかに持っていてもらいたい。私はこのチェーンストアに1つのロマンを賭けた。だからこの業界に50年働いてきた。

2番目は、「自分を変えていく」人間というのは、

企業もそうですけど、変える事が大事です。蟬でも蝶でも成長するときは姿を変える。海老は脱皮しますが、姿・形はあんまり変わらない。だから蛻変するのは、自然環境の下で彼らは本能的に変わるのです。こういう生物は、劇的に変わる。だから蝶々でもなんか汚い虫みたいなものが突然きれいな蝶々に変わるわけ。蝶々に聴いたことは無いが、ものすごい美しくなったと思って凄く喜ぶと思う。そういう変わり方をしていく。蟬でもそう、蛙だってそうです。残念ながら人間は生まれながらに姿・形は変わらないのです。だから自然環境の中では変わるわけではない。社会環境の変化の中で自分が意識しないと変われません。皆さん方も、大学生であって今度は社会に出る時に、何を変えようとするのか、変えなければならないのかを考えなければならない。姿・形は変わらないけど、社会に出て化粧がうまくなって、美人になる、それはそれで良いが、所詮は姿・形は変わらない。変わるのは心の持ち方で、これは良いのだろうか、自分はこういう風になりたいなと強く思う事が大事です。

3番目は先ほど触れました「学ぶ・遊ぶこと」。

4番目に「チャレンジをすること」。挑戦をする、何かに挑む、今までやった事のないことをやってみようとするのが大事です。会社もそうです。やめたほうが良いとは思いつつも、リスクテキングしながら会社というのは変わっていくのです。だからカスミもファミリーマートと一緒にあって、コンビニとスーパーを組み合わせたビジネスをやりはじめたが、まだ先が見えないです。けれども、そういうことにも挑戦していく。なぜか?それは時代が変わってきているからです。高齢化社会になっていく。そんなに大きな店はいらぬ。日常の生活が出来る範囲内。そして近場にそういうお店をたくさん作っていく。いわゆる高齢化社会対応という、時代の要請です。こういうことに対してチャレンジしていかななくてはならない。だから皆さんも企業入っても、本当にこれで良いのだろうか?と疑問を持ち続けなければならない。

5番目に「社会貢献すること」です。企業も人間も一緒です。これからの時代は社会に役立つ、社会に貢献する・奉仕する。これなくして最終的に評価されない。最近の若い人はボランティア活動をたくさんやってくれているが、今個人よりも企業のほうがその責任を問われるのです。企業の社会的責任です。あなたのところは売り上げがよくて利益は上がるけど、何を社会に貢献しているのですか?と株主総会で聴かれます。特に海外の投資家からよく聴かれます。株主さんも配当さえ

もらえれば良いという時代ではない。儲かった分をどれほど社会に還元し貢献しているのですか?とよく会社で問われることがあります。同じように個人も一緒です。別に金を寄付する、ではなく、自分で空いた時間に、公園の子供たちと遊んであげるとか、そういうことでも私は良いと思う。掃除をすることでも良い。そんなことを1つでも2つでも積み上げていく。それが人徳というものです。それで結果的にあの人は立派な人だ、本当に近隣のことをよく考えてくれている人だ、このように協力してくれる人だと、そういう評価を受けていく。それは先ほど言った自己実現にむかって、自分の欲求を満たしていくことにもなっていくわけで、そういう活動をしていっていただきたい。ここに書いてある5つのことは、個人も企業も一緒です。だからカスミという会社も社会貢献に物凄く力を入れている。陸前高田の子供の祭りに10年間かけて支援をしていく。今年で4年目です。七夕の900年続いている祭りや有名な祭りがたくさんある。一方では子供さんを中心に七夕祭りもやっている。それがあの震災で出来なくなった。山車も太鼓もみんな流された。そういうことに対して我々が援助をする。企業で援助するにしても、お客様にも従業員にも取引様にも株主さんにも、貢献する場を作るとというのが私達の仕事。500円でカレンダーを作って、来年のカレンダーももうすぐ発売するが、そういうお金を数千万円集めて、山車を作って祭りを実現していただく。大体もう山車は出来上がったので、教育基金の積立てに使ってもらっている。また学校も流されてなくなっている。あるいは学校自体が、避難場所として使われていますから、運動場などは利用できない。そんな困難・問題はたくさんあるので、そういう支援をしていこうと。その他諸々のことを進めると、カスミは社会的に役立っている会社だな、という想いを皆さんがもってくれる。それで従業員がそのことによって自分たちの心が、そういう方向に段々動いてくれる。そういう場を作るのが我々企業の責任である。



産業政策委員会・環境委員会

環境先進企業視察会を開催

産業政策委員会(委員長 深澤正勝氏 日立セメント(株)取締役専務執行役員)、環境委員会(委員長 坂井雅紀氏 キヤノンエコロジーインダストリー(株)代表取締役社長)は、合同で11月20日(木)～21日(金)にわたり、環境先進企業視察会を開催した。参加者は事務局を合わせ15名。

本視察会では、①(株)日立製作所交通システム社笠戸事業所 ②マツダ(株)防府工場の2社を訪問した。



視察会初日の訪問先は、高速・高密度輸送のニーズに応え、人に優しい高速化の実現をめざして、低騒音化技術など多彩な技術を応用しながら、次世代新幹

線電車の開発に取り組み、新幹線電車に代表される各種電車、都市交通機関としてのモノレールなどの軽量アルミ車両を世界トップレベルの技術で開発・製造している(株)日立製作所交通システム社笠戸事業所。参加者からは「艤装作業は、まさに圧巻であった。その技術力の高さには感服した」、「大きな工場であるが、整理整頓が素晴らしい。各職員の技術レベルも高く、ヒトづくりも参考にしたい」などの感想が聞かれた。また、質疑応答では、環境への取組、防災への取組などの様々な質問に丁寧に回答いただいた。

視察2日目は、世界初の「多変量車体ライン」や車両組立ラインに「多品種混流モジュール組立システム」を採用するなど最新鋭の設備を備え「マツダ アクセラ」および「アテンザ」の2車種を生産しているマツダ

(株)防府工場を視察。参加者からは「注文を受けてからの納期が2週間(国内のみ対応)とは驚いたが、生産ラインに無駄がなく企業努力が感じられた」などの感想が聞かれた。質疑応答では、環境への取組、従業員教育などの質問がだされ、丁寧に回答いただいた。

全体を通じ、両工場とも環境に対する取組、安全・防災に対する取組、従業員教育が非常に高いレベルで実践されており、参加者からは、「非常に参考になった」、「遠方であったが、参加した甲斐があった」また、「異業種の方との交流も図れた」などの声も寄せられた。



経営教育委員会

経理セミナーを開催

基礎編と応用編を1日コースで学ぶ

経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行代表取締役副頭取)は経理セミナーを開催。11月7日(金)に“基礎編”を、同月20日(木)に“応用編”を各々1日コースで学んだ。水戸京成ホテルを会場に、基礎編は44名、応用編は41名にご参加いただいた。

“基礎編”の講師には例年お招

きしている、木村税理会計事務所長の木村聡子氏にご指導をいただき、“応用編”の講師には財務リスク研究所(株)代表取締役の横山悟一氏にご指導いただいた。

基礎編では、一見、複雑に捉えられがちな「経理」の仕組みを実務に沿ってポイントを絞りながら解説が進められ、応用編では決算書をベースに、多くの

ケーススタディを交えながら、経理担当者として求められる分析力・決算書の読み方について学んだ。



労働企画委員会

(株)日立ハイテクノロジーズにおいて第3回若手の勉強会を開催

労働企画委員会(委員長 館岡司氏 (株)日立製作所電力システム社日立事業所副所長)は11月6日(木)、(株)日立ハイテ

クノロジーズ(ひたちなか市)において、第3回目となる若手人事労務担当者のための勉強会を開催した。

た知見を報告する予定となっている。

なお、当日は午前中に同社の生産現場の見学を行った。



本会合では、前回に引き続き、「新入社員～5年目までのモチベーション向上策と育成プログラムを考える」をテーマにグループディスカッションを行った。次回の第4回会合では、これまでのグループワークで得られ



環境委員会

環境委員会、情報交換会を開催

環境委員会(委員長 坂井雅紀氏 キヤノンエコロジーインダストリー (株)代表取締役社長)は11月7日(金)、当協会会議室にて、平成26年度第2回委員会および情報交換会を開催した。委員会では、上期事業活動報告ならびに下期事業活動計画について報告した後、情報交換会を行った。

情報交換会では「電力&エネルギー使用量削減の取組み」のテーマを設け、委員各社から日頃取組んでいる活動について紹介をいただいた。また、当日は、オブザーブ参加として、経済産

業省関東経済産業局 資源エネルギー対策課課長補佐 金山氏、同じく資源エネルギー対策課課長補佐 早瀬氏、茨城県 地球温暖化対策室長 小又氏、東京ガス(株)茨城事業部副部長 榎本氏の4名の方々にも同席いただき、エネルギー使用量の削減に向けた対策などについてアドバイスをいただいた。

参加者からは「異業種で構成されている委員各社の事例を拝聴し、エネルギー使用量削減の改善活動のヒントを得ることができ視野

が広がった」「活動の取組みを聴いているだけでなく、委員間での課題共有や情報を交換することによって、より理解を深めることができた」といった感想が寄せられた。



環境研究会例会

「環境活動への取組み」などについて情報交換

環境研究会(代表幹事 大川泰弘氏 (株)リーテム 執行役員水戸事業部長)は、10月29日(水)、キリンビール(株)取手工場にて、環境研究会例会を開催した。

当日は、はじめに、キリンビール(株)取手工場の見学をした後、同工場が取組んでいる環境活動の取組みについてご紹介

をいただいた。また、その後は、参加各社より「環境活動への取組み」または「エネルギー(電気・ガス)の削減事例」のどちらかの取組みをご紹介いただいた後、参加者同士が情報交換を行った。参加者からは「普段、省エネルギー対策をしているが、各社が取組んでいる省エネ

ルギー活動等を紹介いただき、自社でも取入れたい活動があったので参考になった」などの感想が寄せられた。

情報交換会終了後には、環境研究会メンバー同士の懇親会が開催され、日頃環境活動を推進する上での悩み事や課題などをメンバー同士で意見交換し、散会した。

青年経営研究会(会長 磯崎寛也氏(株)アイ・ティ・エイチ代表取締役社長)は、11月13日(木)～14日(金)、埼玉県経営者協会青年経営者部会主管でさいたま市・パレスホテル大宮において開催された「第39回青年部会全国大会」に25名が参加、全体では175名が集った。

大会では、主催者を代表して、藤池一誠部会長から「さいたまの地にお越しいただいた事に感謝したい。大会のテーマを



“じつは、すごいぞ！埼玉”とさせていただいたように、目立たないが日本一や埼玉発祥のものも多い。今回は皆さんの知らない埼玉の魅力を堪能いただきたい」との開会挨拶、続いて来賓挨拶があった後、なでしこジャパン監督の佐々木則夫氏から「目標達成へのプロセス～ソーシャルフットボール～」と題し、2011年のワールドカップ初優勝やロンドン五輪での銀メダル獲得への道のりや裏話について熱くお話いただいた。

同氏は、「日本の女子は俊敏性などでサッカーに向いているが、アメリカなどに比べて圧倒的に競技人口が少ない。そういう状況で世界と戦うために“世界のなでしこになる”というピ

ジョンを掲げ、目標や夢の高揚を図るとともに、攻守の切り替えの質を高めるなど、日本の女子の特性を生かす戦略・戦術の徹底を進めた。選手たちには、成功の反対は失敗ではなく、チャレンジしないことだと言いきかせている」と強調した。

また、懇親会では、ポジティブヨガ、ものまねショー、サンバなど多彩なアトラクションが披露される中、次回の主管が予定されている京都経営者協会青年経営者部会からのPRが行われた。

翌日、記念ゴルフ組は、2020年東京オリンピックゴルフ競技コースが予定されている霞ヶ関カントリークラブにてプレーを行い、散会した。

支部だより

DEC. 2014

Branch office report

取手・龍ヶ崎地区支部

取手市長、龍ヶ崎市長との懇談会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部(支部長 小早川忠氏 キリンビール(株)取手工場長)は、11月18日(火)キャノン(株)取手事業所において、取手市・藤井信吾市長および龍ヶ崎市・中山一生市長との懇談会を開催した。

本懇談会は、取手市長および龍ヶ崎市長の行政施策を拝聴し、より良い地域づくりのために産業界の意見を提案するとともに、行政と企業の相互理解の促進を図ることを目的に開催。

はじめに、開会挨拶で小早川支部長が挨拶し、その後、藤井信吾・取手市長から「スマート

ウエルネスとりでの推進」と題し、「取手駅北土地利用構想」「取手駅西口歩行者デッキ整備・自転車駐車場整備」などの取組みを紹介いただき、取手市の中心市街地活性化策ならびに「歩く」ことを健康づくりの中心にすえた健康づくりと幸せづくりの戦略などについてお話しをいただいた。

その後、中山一生・龍ヶ崎市長から「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」と題し、「まちの活性化と知名度アップ」「若者・子育て世代の定住環境の創出」などの取組みを紹介いただき、市民活動

日本一・子育て環境日本一を目指したまちづくりなどの重点施策についてお話をいただいた。

懇談会終了後には、質疑応答や交流会も併設し、駅周辺や商店街の活性化策などについて意見を交わし、行政と企業の相互理解を深め散会した。





古河・坂東地区支部(支部長 阪好弘氏 京三電機(株)代表取締役社長)は、10月27日(月)、古河市「ザ・カナルハウス」において、平成26年度の支部総会を開催した。阪支部長、老川副支部長、内藤副支部長をはじめ、合計40名が出席した。

当日は、古谷幹事長の司会進行ではじまり、開会挨拶で阪支部長が挨拶。その後、澤畑専務

理事より26年度重点活動の説明報告、浜野副幹事長より26年度支部活動等を説明報告し、承認された。

総会終了後には特別講演会として、スターバックスコーヒー ジャパン(株)元CEO(最高経営責任者)岩田松雄氏をお招きし「ミッション経営、企業の原点にもどる」と題する講演会を開催。

岩田氏からは「スターバックスは、拡大路線に走りコーヒーの味も売上も低下していった時期があったが、企業経営の原点に振り返ったことで、現在も成長し続けている。現在のスターバックスのミッションは、①おいしいコーヒー、②快適な店舗環境、③店舗で働く人の素敵な笑顔、という要素で経営している。また、スターバックスではマニュアルがなく「Just Say Yes!」、すなわち、道徳・法律・倫理に反しない限り、お客様のご要望には最大限お応えするという精神である」など、スターバックスの事例などを取り上げながら、お話いただいた。

講演会終了後には、交流パーティも併設し、会員企業同士の情報交換や名刺交換など懇親を深め散会した。

チャリティゴルフを開催

11月19日(水)、大利根カントリークラブにおいてチャリティゴルフを開催した。当日は好天に恵まれ、参加者は24名であった。参加者から寄付金総額6万8,000円が寄せられ、後日、自殺防止のための電話相談を受けている「茨城いのちの電話」に寄贈した。



『会員増強運動2014』の状況

目標まで2社

1. 11月の状況

11月は、支部役員・幹事の皆様、役員・委員会委員の皆様からのご紹介により、入会4社、退会ゼロ、前月比プラス4社となり、前年度比51社増、年度目標の870社まであと2社に迫りました。

会員の皆様のご協力に感謝いたします。早期目標達成に向けて引続きのご紹介をお願いいたします。

2. 『会員増強運動2014』について

会員の状況（10月31日現在）

| 支部 項目 | 県北 | 日立 | 常陸・ 那珂 | 水戸 | 土浦・石岡 つくば | 取手・ 龍ヶ崎 | 県西 | 古河・ 坂東 | 鹿行 | 合計 | |
|--------------|----|----|-----------|-----|--------------|------------|----|-----------|-----|------|------|
| 25年度末 会員数 | 38 | 85 | 73 | 243 | 118 | 54 | 62 | 51 | 93 | 817 | |
| 入会数 | | 9 | 5 | 14 | 7 | 11 | 9 | 2 | 8 | 66 | |
| 退会数 | 1 | 2 | 2 | 4 | | 1 | 3 | 1 | 1 | 15 | |
| 会員数 | 37 | 92 | 76 | 253 | 125 | 64 | 68 | 52 | 100 | 868 | |
| | | | | | | | | | | 前年度比 | + 51 |

平成26年度目標 **870**

目標比 **▲ 2**

平成26年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の初年度にあたります。

今後ますます、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるために、また「数は力なり」でこれまで以上に行政等に対する政策提言力の強化を図るためにも、平成26年度も引続き『会員増強運動2014』に取り組んでおります。

今年度は、本部役員等に限らず、幅広くすべての会員の皆様から、お知り合いなどをご紹介いただき、運動を盛り上げてまいります。

つきましては、会員の皆様におかれましては、当協会にご入会いただけそうなお知り合いなどがいらっしゃるいましたら、1社からで結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

※FAXのほか必要事項をご記載いただければ電子メールでも結構です。

メールアドレス：info@ikk.or.jp

なお、「会員増強運動2014」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、毎月会員の皆様へお知らせしてまいります。ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

【会員増強運動2014】 入会见込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

| | |
|------|--|
| 御社名 | |
| 役職氏名 | |
| TEL | |

“会員増強運動 2014”の入会见込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会见込先の情報】

| No. | 会社名 | 電話番号 | 先方担当者（役職氏名） | 連絡方法（○印） |
|-----|-----|------|-------------|----------|
| 1 | | | 役職： | 直接連絡可 |
| | | | 氏名： | ご紹介者経由 |
| 2 | | | 役職： | 直接連絡可 |
| | | | 氏名： | ご紹介者経由 |
| 3 | | | 役職： | 直接連絡可 |
| | | | 氏名： | ご紹介者経由 |
| 4 | | | 役職： | 直接連絡可 |
| | | | 氏名： | ご紹介者経由 |
| 5 | | | 役職： | 直接連絡可 |
| | | | 氏名： | ご紹介者経由 |

【備考】

| |
|--|
| |
|--|

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

新入会員紹介

株式会社三栄製作所

■代表取締役社長 南雲 京子



Data 所在地／茨城県笠間市
東平 2 丁目 14-35
T E L 0296-73-4888
F A X 0296-77-3811
業 種／エレベーター用巻上機
等の製造・販売
従業員／39名

Appeal point

弊社は、独自のノウハウ・技術により、エレベーター用巻上機を中心に、設計から製造・販売・アフターサービスと一貫した体制を構築、更に巻上機の他にもエレベーター関連部品・鋳物など幅広い製品・サービスを提供しており、1972年の創業以来、国内はもとより海外のお客様からも高い評価を頂いております。

また「全従業員の物心両面の幸せを追求すると共に、お客様に安全と安心と真心を提供し社会全体のお役に立つ」ための取り組みを中国天津の子会社と共に日々推進し続けています。

ナカノ管材株式会社

■代表取締役 中野 博



Data 所在地／茨城県取手市小浮気 151
T E L 0297-83-3121
F A X 0297-83-8702
業 種／衛生設備機器、住宅設備機器、水道配管資材の販売
従業員／99名

Appeal point

弊社は1978年（昭和53年）の創業以来、衛生設備機器・住宅設備機器・水道配管資材の販売を通じてお客様、地域社会に貢献してまいりました。

常に新しい商品・サービス・価値観を見出すことに力を注ぎ、ここ近年では東京を中心とした関東圏内に急速に拠点を展開しております。

今後も初心を忘れず丁寧な接客サービスを心がけ、お客様の満足向上のため、努めてまいります。

松本産業株式会社

■代表取締役 松本 安利



Data 所在地／茨城県潮来市大洲 1402
T E L 0299-63-0311
F A X 0299-63-1417
業 種／プラスチック成形加工業
従業員／19名（パート除く）
特 徴／エンジニアリングプラスチックの成形技術

Appeal point

弊社は、昭和38年の創業以来、各種プラスチック製品の製造を軸に今日に至りました。その間の各お取引先様方のご協力、ご指導に深く感謝申し上げます。忠実、誠意の信条を基に、より良い製品をご提供出来ます様、努力して参りました。樹脂製品の金型設計及び製作から、成形、組み立て完成品までを柱に掲げ、社員一丸となり誠意を持って新時代を頑張る所存です。今後共に、一層のご協力とご支援を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

平成26年度 特定(産業別)最低賃金が決定

(鉄鋼業、電気・精密機械、一般機械、各種商品小売業の各業種で大幅増額改定)

茨城県内で働く労働者に適用される茨城県最低賃金(略称＝県最賃、地域最賃)は、**時間額729円(対前年+16円)**となり、既に発効されている。

地域最賃を補完する意味で設定されている4業種の特定最低賃金について、茨城地方最低賃金審議会(武田隆志会長)は、関係労使からの意見聴取、賃金実態調査結果等を検討して、本審議会において、改定の『必要性有り』を答申し、専門部会を設置して9月22日より金額審議を行った。

各業種の専門部会は、鉄鋼業、一般機械器具製造業、電気・精密機械器具製造業、各種商品小売業の4業種とも10月末に結審した。下表の通り時間額を決定し茨城労働局長に答申した。

専門部会の金額審議で、鉄鋼業では、景気は持ち直し好業績、他県との水準格差是正を主張する労働者側に対し、業界の先行き見通しも不透明、中小零細企業への配慮が必要と使用者側は主張したが、最終的には、834円(現行+16円)で全会一致で結審した。

一般機械製造業においては、使用者側は、電力や原材料の上昇で中小零細企業の経営実態は厳しいと主張したが、最終的には811円(現行+13円)で全会一致で結審した。

電気・精密機械製造業では、使用者側は、景気は変調、先行き不透明、中小零細企業の厳しい経営環境と実態を考慮すべきと主張した。最終的には、現行

+13円の公益見解が示され全会一致で、806円(現行+13円)で本審に答申した。

各種商品小売業では、価格競争の激化、消費税引き上げによる落込み、中小零細企業の経営実態に配慮すべきと使用者側は主張したが、最終的には、780円(現行+13円)で全会一致で結審した。

鉄鋼以外の3業種は、地域最賃より3円低い引上げであったものの、賃金指標の実態から見ると大幅な引上げ額であり、特に各種商品小売業においては、影響率(改定による引上げ後、改定額を下回る労働者の割合)が31.09%と高い割合となっており、経営への悪影響が懸念される結果となった。

平成26年度 茨城県特定最低賃金

| | | 県最賃 (地域最賃) | 鉄鋼業 | 一般機械 器具製造業 | 電気・精密機 械器具製造業 | 各種商品 小売業 |
|-----|-------------|---------------|--------|---------------|------------------|-------------|
| 改定前 | 時間額 (円) | 713 | 818 | 798 | 793 | 767 |
| | ※未満率% | 0.94 | 2.78 | 1.31 | 4.15 | 10.08 |
| 増加額 | 時間額増額 | 16 | 16 | 13 | 13 | 13 |
| | (同上増加率%) | 2.24 | 1.96 | 1.63 | 1.64 | 1.69 |
| 改定後 | 時間額 (円) | 729 | 834 | 811 | 806 | 780 |
| ※ | 影響率 (%) | 2.81 | 3.03 | 2.16 | 7.47 | 31.09 |
| | 適用労働者数 (人) | 1,124,000 | 8,300 | 33,100 | 49,400 | 9,600 |
| | 効力発効 (予定) 日 | 10月4日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 |

最低賃金・基礎用語

県最賃＝地域最賃・・・茨城県内で働く全ての労働者に適用される最低賃金額

特定最低賃金・・・特定の産業の労使が、地域最賃より高い最低賃金が必要と認める場合に設定する。

未満率・・・現在設定されている最低賃金を下回っている労働者の割合。

影響率・・・最低賃金を改定した場合、その改定後の最低賃金を下回る労働者の割合のこと

【数に込められた 思いと意味】

9

和の年中行事は数字とともにあり

k2マネジメント代表取締役 葛田 一雄

年中行事とは、そもそも宮中における一年の中に一定の時期に慣例として行われる公事であったが、今では、民間の行事や祭事も年中行事といっている。公事とは、朝廷で行われた政務および儀式であるが、公けの事務についても公事と言っている。和の行事は暦の数字とともに成り立っていた。

【煤払い】

正月を迎える準備は十二月十三日から始まる。この日、一日がかりで家の内外を大掃除する風習であり、家の中の穢れを清め去り、トシの神を迎える準備をする。

【除夜の鐘】

大晦日の夜に百八つ撞くのは、百八つの煩惱を破るためである。煩惱は得道を妨げる惑いのことである。

【年越し】

年が改まって新しい年を迎える前夜を言う。大正月、小正月の前の晩のほか、節分の日をさしていることもある。

【ことはじめ】

コトは、正月の行事を指す。暮れの十三日をことはじめの日といい神を迎える祭場を設けるなど、正月の準備を始める。

【年なわ】

正月を迎えるしめなわのことを言う。門松を立てない地方でも、しめなわは張っている。

【正月】

東洋の暦は立春を正月としていたが、明治以降、太陽暦が採

用された。正月は、一年の始まりの月である。米作りの神である〔トシの神〕を迎え、稲作の豊作を願う祭りでもある。

【門松】

正月の松はトシの神の依代のようだ。松と限らず、檜や椿、榊などを用いる地域あるいは門松の代わりに屋内に松を立てる地域があるし、正月に松を飾ってはいけないという地域もある。

【松むかえ】

トシの神がやってくる方位〔アキノカタ〕の山から、一家の主が松を伐ってきた。これを松むかえと言う。

【おせち】

お節供の略である。節の日に特別に作る料理やお供えの餅のことを言う。正月の料理は、トシの神に供えて家内親族そろって相餐にあずかる仕来りである。

【年男】

一家を代表して正月の行事いっさいを取り仕切る男子を言う。その家の主または長男がこの役にあたるが、奉公人にさせることもある。

【若水】

元旦に初めて汲む水をいい、若水を汲む時の作法にはさまざまな風習がある。

【雑煮】

トシの神にお供えした餅をお下がりとさせていただくのが雑煮である。雑煮の味、具は地方や家庭によって異なる。

【お重ね】

白い餅のお重ねはトシの神の神座を表す。

【屠蘇】

屠蘇散は漢方の薬で、肉桂、山椒、桔梗、防風などを調合して赤い絹で包み、酒に浸して飲む。宮中の風習が民間に広まった。

【年玉】

正月についた餅を小餅にして、家族一人ひとりに分け与えたことによって、トシの神の恩恵を分ける意味合いがあった。

【年始】

年賀まわり。元旦の朝から親戚や知人、近隣を訪問し新年の祝詞を述べ合う。

【初夢】

初夢は年が明けて初めてみる夢のことであり、元旦の夜の夢を言う。「一富士二鷹 三茄子」、一年の吉凶を占おうとするものである。

【松の内】

元旦から松飾りを取り除くまでの期間を松の内といい、通常は七日正月までを言う。

【七草粥】

正月七日の朝、七草粥を食べて祝う。七草の種類については時代によって変わってきたが、大概是、芹、なずな、御行、はこべら、仏の座、すずな、すずしろを言う。

【鍬入れ】

農事の始めを鍬入れといい、田畑に鍬を入れて少し掘り起こし、松や譲り葉などの枝を挿して豊作を祈る。地方によってさまざまな方法があり、正月十一日に行われることが多い。

【小正月】

正月十五日のことで、農耕儀

礼を中心に行事が行われる。

【豆まき】

炒った豆を枱に盛って、年男が「福は内 鬼は外」と家の内外に撒く。穀物の持っている神秘の力で悪霊をはらう行事で、大晦日に行く地方もある。

【厄落し】

節分の夜、厄年の男女が、身につけた物や年の数だけ包んだ銭を辻に落として厄を逃れるのになぞられる行事である。

【年占い】

その年の豊作の吉凶を占うことで、主として小正月や節分の行事として行われてきた。豆や粥、白米、餅など年占の方法は様々である。

【初午】

二月の最初の午の日をいい、各地の稲荷神社で祭が行われる。

【針供養】

二月八日、その年に使って折れた縫い針を集めて淡島堂へ納め、供養する行事のことで、土地により、豆腐やこんにゃくに差したりもする。

【裸まつり】

寒中に、禪の男たちが大勢押し合う祭で各地で行われている。

【ひなまつり】

雛はもともと人形で霊力のある呪具であった。雛に身体のけがれを移し、海や川に流して災厄を祓う行事である。いまの雛飾りの様式は江戸中期ごろに京で起こった。

【彼岸】

春分と秋分を中日として前後各三日の七日間を彼岸の節といい、先祖の墓参りをする。

【十三まいり】

女の子が十三歳になると、虚空蔵さまに参詣する。成女式の一つである。

【花まつり】

お釈迦様の誕生日といわれる四月八日に各寺院で降誕を祝して行われる灌仏会のことである。

【端午の節供】

五月五日の節供であり、男の

節供として戸外に幟を立て、武者人形を飾るのは武家の風習を伝えた。この日、流鏝馬などの行事が行われる。

【水口祭り】

五月は田植え月であり、種粃を撒き終わった苗代の水口に土を少し盛って、焼米を供え、ウツギの枝などを立てるのが水口祭りである。

【山開き】

登山が許される初日を言う。昔、登山は信仰行事である。霊山の登山を禁じ、夏期一定の期間に限って禁を解いた。

【川開き】

川に入ることが許される初日。この日から水泳ができた。

【みこし洗い】

京都の八坂神社で行われる祓いの神事「祇園会」であり、神幸のさきとあとの二度、みこしに賀茂川の水を注ぐ。

【虫送り】

稲を食い荒らす虫を払う呪法。夜、たいまつをともして、鉦と太鼓ではやしながら、わら人形を村境や川まで送っていく行事である。

【雨乞い】

干ばつの時などに、神社に集まって鐘や太鼓をたたきながら雨祈をする。

【名越し】

旧暦六月晦日に行う祓いの神事で、夏越、六月祓、荒和の祓などともいう。

【盆】

祖霊が子孫の生活に祝福を与えるために来臨するのを迎える祭りである。

【七夕】

陰暦七月七日。シナの牽牛、織女の夫婦が年に一度会うのを許される日という伝説である。

【盆踊り】

盆の間、村の広場などにやぐらを組み、太鼓の音に合わせて浴衣姿の男女が踊る。死んだ霊に対するタマシズメの行事であったようだ。

【送り火】

十五日か十六日に送り火を焚いて、祖霊を送り返す。

【施餓鬼】

まつる人のない無縁の衆生に飲食を供え、その魂を鎮めようという盆の行事である。

【中元】

正月、七月、十月の十五日を上元、中元、下元という。お盆の前の贈答を中元と呼ぶようになった。

【八朔】

八月一日の意味。この日、九州では作タノミの行事を、東北の早場米の地帯では穂掛けの行事を行う。

【十五夜】

旧暦八月十五日の満月の夜を「中秋の名月」と言う。大豆の収穫祭の意味もある。

【おくんち】

五節句の一つである九月九日をいい、九州ではおくんちの祭りが盛んである。この日は菊の節供として菊酒を飲む習わしがある。

【十三夜】

九月十三日に行われる日本古来の月祭りである。

【神送り】

収穫のすんだ後で、農神たちが田から山へ帰る日である。神無月に神々が出雲へ旅立たれるのをお見送りする祭にもなった。

【ふいご祭り】

十一月八日。鍛冶屋、鋳物師などフイゴを使う仕事をしている人の祭りである。

【酉の市】

十一月の酉の日に神社で行う祭り、もとは農耕の祭りだった。

【歳暮】

年末の贈答のことである。

【年忘れ】

年の暮れに親戚知人が集まって、その年の苦勞を忘れ去ろうという宴である。

子どもの貧困対策が急務

茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事 横田 能洋

○子どもの貧困対策が急務

貧困の連鎖を防ぐための「子どもの貧困対策法」が今年成立しました。現代の日本において約6人に1人の子どもが貧困水準にあるといわれます。生活保護世帯の場合、家庭によっても異なりますが、高校や大学へ進学したくても、経済的理由や、親が子どものことや教育に関心が低いなどの理由で、キャリア形成ができないケースが多く、養育放棄など厳しい環境で育った場合、こどもも成人後に保護を受ける可能性が高くなります。これが貧困の連鎖です。貧困から抜け出すためには、教育の機会が重要ということで、県も今後子どもの貧困対策についての計画を策定して学習支援の仕組みを整備することになっています。

○福祉と教育、行政と民間の連携

そんな中で、11月17日、コモンズは、貧困の連鎖を防ぐための学習支援に関する円卓会議を開きました。会議には県内で学習支援を実施、計画しているNPOや社協の関係者と、県や市の福祉課や子ども課、教育委員会の関係者など約30名が集まりました。

県内のいくつかの事例報告の中で課題と指摘されたのが、支援したい世帯にどう学習支援の情報を届けるか、プライバシーに配慮しつつ支援が必要な子が来られる場をどうつくるか、送迎をどうするか、という課題です。あるNPOは、安売りをしているスーパーのレジに無料塾のチラシをおき、使われていない病院を借りて週2回が学習支援をしています。家で十分に食事がとれない子もいるため、手作りの夕食も提供しています。ある社協は、受講希望者を公募した上で保護者と面談して1回500円で月1回学習支援を行っています。このように様々な形で試みが行われています。いくつかの市の教育委員会も放課後や週末の補習を行うようになりました。しかし対象を限定しないで行う補習の場合、本当に支援が必要な子どもが通にくい状況もあります。円卓会議では、栃木で行政と連携して無料の学習支援を行っているNPOが事例報告をしました。栃木では、教育委員会が把握している準要保護世帯(就学援助金を受けている世帯で生活保護世帯の10倍以上)の情報を福祉課が共有し、準要保護世帯の子どもまで対象にして公民館で学習支援を行っています。特にプライバシーに関する問題は起きてい

ないとのことでした。この話から、行政が支援が必要な世帯の情報を共有できれば個別に案内することが可能であることがわかりました。

○学習支援の場を地域に広げるために

残る壁は、学習支援を行うボランティアと会場となる施設(平日の夜間だけでも使えればいい)そして送迎手段をどう地域で用意するかです。ボランティアは、教科の指導経験がなくてもできることがあります。大事なことは気持ちによりそい、意欲を引き出すことだからです。学ぶ楽しさを感じることを感じたり、将来つきたい職業など夢をもつことができれば、その子は将来の地域の担い手になることができます。コモンズとしても、県内小中高校に2200名も在籍する外国籍の子どものための学習支援の場づくりに取り組んでいます。企業の皆さんにも、広報、会場提供、学習支援ボランティア、職場見学受け入れ、食材の提供、運営資金に対する寄付など可能な範囲でかわっていただきたいと思えます。茨城の未来を担うこどもたちを貧困の連鎖から救う取り組みに是非ご協力ください。

Seminar & Business

セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問い合わせください＝


| セミナー名 | 日時 | テーマ・内容 | 講師 | 会場 |
|---------|-------------------------------|------------------|---------------------------------|---------|
| 新春経済講演会 | 1月22日(木) 14:00～16:00 無料 | 「2015年の日本経済のゆくえ」 | 第一生命経済研究所 主席エコノミスト 熊野 英生氏 | 常陽藝文ホール |

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp

【お詫びと訂正】

先月発行致しました情報誌11月号に以下の記述の誤りがございました。
関係各位には大変ご迷惑をお掛け致しました。深くお詫び申し上げます。

- ・14頁 慶事のお知らせ
(誤)阿部孝之氏
(正)阿部孝行氏



You & IC

「ともに、いきる」を実現する大学
茨城キリスト教大学

| | | |
|---|---|------------------------------|
| 文学部 文化交流学科 現代英語学科 児童教育学科 児童教育学科 児童保育専攻 | 生活科学部 心理福祉学科 (2013年8月 人間福祉学科より名称変更) 食物健康科学科 | 看護学部 看護学科 経営学部 経営学科 |
|---|---|------------------------------|

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 JR常磐線大塚(おおみか)駅隣接
<http://www.ikk.ac.jp/> 携帯用 <http://www.ikk.ac.jp/m/>



Re-Tem

株式会社リーテム

資源リサイクル・環境コンサルティング・エコマネジメント
資源循環の総合ソリューションカンパニー

水戸工場 〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡3520 Tel:029-292-1220
東京工場 〒143-0002 大田区城南島3-2-9 Tel:03-3790-2100
本社 〒101-0021 千代田区外神田3-6-10 Tel:03-3258-8586
<http://www.re-tem.com/>

未来のために、よりよい自然環境を保全し、
希望と生命力にあふれた社会の実現に貢献します。

心と心のつながりで価値・創造・提案企業を目指します

機械・工具・伝動・管材

 **小川産業株式会社**

<http://www.osc-web.co.jp/>

【OSショップ】YAHOO店・楽天市場店

■本社 北茨城市磯原町本町3-1-8 ■つくば出張所 つくば市北条4679-1
0293-42-1200 029-850-7500



【安心】の東栄グループ 機械・資材・工具・溶接機械

東栄機工株式会社

<http://www.toueikikou.co.jp/>

本社 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-18

TEL(0299)96-6023(代) FAX(0299)96-5630

ひたちなか営業所 〒312-0004 茨城県ひたちなか市長砂字塙123-2

TEL(029)219-5577(代) FAX(029)219-5588

東栄グループ

工業用ファスナー・ボルト

産業機械レンタル・修理

プロスパー洗洋株式会社 リペア・カサハラ株式会社

<http://www.neji-pros.jp/>

〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-19 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-16

TEL(0299)94-3366 FAX(0299)94-3666 TEL(0299)97-1050 FAX(0299)97-2776



心を込めて、信頼できるカーライフ

茨城トヨタ

Esquire



エスクァイア

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

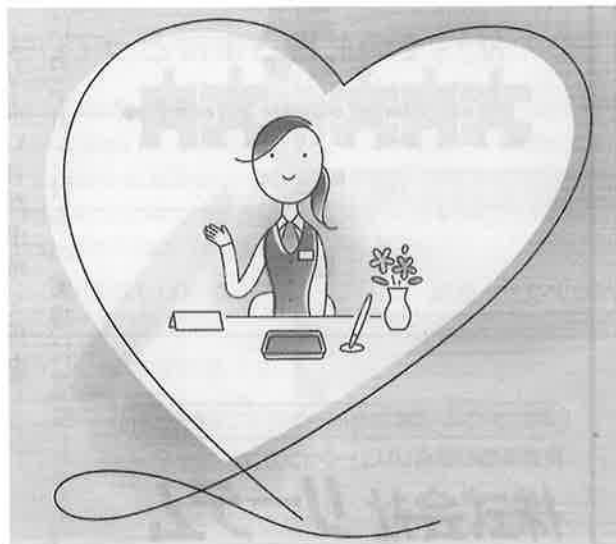
TEL 0120-090110

<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



「障害者就職面接会」開催のお知らせ

ハローワーク及び厚生労働省茨城労働局並びに茨城県では、平成26年度後期の障害者就職面接会を開催いたします。

参加を希望される事業主または求職者の方は、ハローワーク水戸までお問い合わせください。

記

- 1 日時 平成27年2月10日(火)
受付 12時30分から
面接会 13時から15時30分
- 2 場所 水戸市宮町1-6-1
ホテルレイクビュー水戸
- 3 お問い合わせ ハローワーク水戸
電話029-231-6225

以上

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

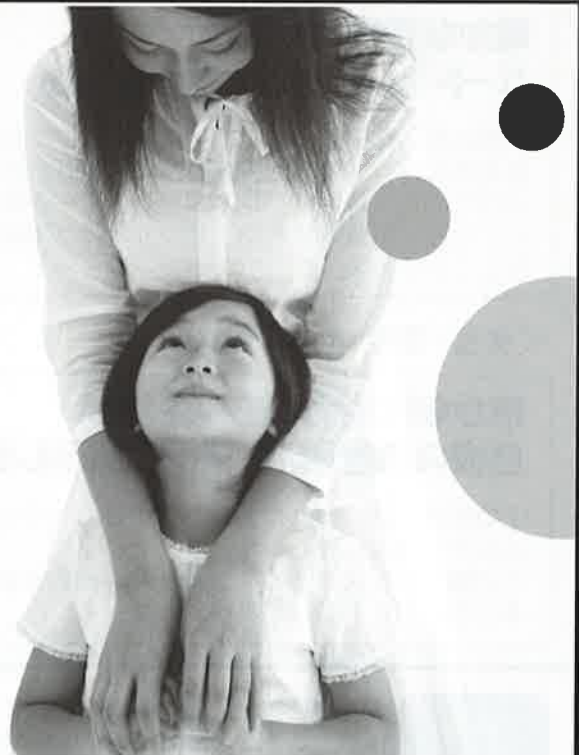
そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、


未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行
Tsukuba Bank

県内5金融機関との連携による 茨城ものづくり企業交流会2015

製品・技術
展示会



金融機関一押しの
ものづくり中小企業
約「100社」が展示

入場
無料

日時

平成27年2月26日(木)
12:30~16:30 (時間内の入退場自由)

会場

水戸プラザホテル
2階「ボールルーム」

＜企業関係者・一般の皆様へ＞

確かな技術力をもつ パートナーを探してみませんか

「製品の品質を高めたい」「性能アップで付加価値を高めたい」「新製品開発のための優れた技術を見つけない」「新たなビジネスパートナーを探したい」など、企業関係者や一般の方々のご来場をお待ちしております。

＜先生・学生・生徒の皆様へ＞

確かな技術力をもつ企業が 自慢の自社製品・技術を展示します

茨城県内には、優れた製品や技術をもつ中小企業さんがたくさん存在します。この機会に、ものづくり企業さんの技術や就職先の糸口探る場として、ご来場ください。



お問合せ
お申込先

茨城県経営者協会 事務局(薄井)
TEL;029-221-5301 FAX;029-224-1109
E-mail;usui@ikk.or.jp

〔主催〕茨城県経営者協会

〔共催〕茨城県信用組合、常陽銀行、筑波銀行、
(50音順) 水戸信用金庫、結城信用金庫

ぜひ一度サイトをご覧ください！

採用支援サイト

【就職MAP】 2016年度版 (現3年生向け)

12月4日オープン 掲載申込受付中

<http://www.shumap.jp/>

For キャリア採用 (中途採用)
For パート、アルバイト採用
にも活用頂けます！

- ①求人情報をキレイ、自由、簡単に掲載します。
- ②煩雑な操作は必要ありません。
- ③無料です。(経営者協会会員に限ります)

【ご掲載までの流れ】

[お申し込み]→[お打合せ]→[求人情報の加工]→[CHECK]→[サイト公開]

※下記「掲載申込」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお送り下さい。

運営 一般社団法人茨城県経営者協会

〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109 E-mail info@ikk.or.jp
就職MAP茨城版 <http://www.shumap.jp/>

| 掲 載 申 込 | | FAX | 029-224-1109 |
|---------------|--|--------|----------------|
| | | E-mail | info@ikk.or.jp |
| 会社名 | | | |
| 申込御担当者 役職名・氏名 | | | |
| 連絡先 (TEL) | | | |

就職MAP 茨城版

Job Research Map

For
新卒者
採用

For
キャリア
採用

For
パート
アルバイト
採用

採用支援サイト【就職MAP】
2016年度向け受付開始！

<http://www.shumap.jp/>

- ①求人情報をキレイ、自由、簡単に掲載します。
- ②煩雑な操作は必要ありません。
- ③無料です。（経営者協会会員に限ります）

求人情報の掲載は、
茨城県経営者協会「就職MAP」担当（後藤）まで
TEL 029-221-5301
FAX 029-224-1109
E-mail info@ikk.or.jp